2024 年度 中国ブロック・ジュニアペタンク交流会 報告

◇報告者:佐野裕二(岡山県ペタンク連盟会長) 2024年8月22日作成

◇目 的:中国ブロックの各県のペタンクに親しむジュニア選手の育成と交流を目的

に開催する。

◇日 時: **2024 年 8 月 18 日 (日)** 受付 9:30 実施 9:50~15:30

◇会場:島根県出雲市多伎いちじく温泉特設ペタンク場(出雲市多伎町久村)

◇参加費:無料

◇参加者:**島根県のジュニア** 9人

> 岡山県のジュニア 6人

> 山口県のジュニア 1人

島根県のボランティアスタッフ 9人 岡山県のボランティアスタッフ 1人

山口県のボランティアスタッフ 1人

公認指導者 1人(佐野裕二)

引率者 2人 合 計 30 人



◇熱中症対策

・猛暑の時期であるので、屋根付きグラウンドを検討し、今回の会場に決定した。 猛暑にも関わらず屋根があったので、交流会は、計画通り進めることができた。 また、約30分おきには水分補給を行った。体調を悪くするものはいなかった。

◇交流内容

① 基礎練習

ルーティン、マット落とし、ポワンテ練習、ティール練習

② ポワンテ大会

各チームに1人ずつスタッフを加えてトリプルスで8チームに分かれ対抗戦 を実施。ポワンテで直径1mの円の中に入れば1点、7~11点先取で実施。 1~3 位までのチームには、3 点、2 点、1 点の勝点を取得。

③ ティール大会

各チームに1人ずつスタッフを加えてトリプルスで8チームに分かれ対抗戦 を実施。ティールで目標球を直径1mの円の中から出せば1点、カローは2 点、9点先取で実施。ポワンテと同様の勝ち点を取得。

4 ペタンク対抗戦

1メーヌのみの対抗戦を行い、勝てば勝点1を取得。相手を代えながら6メ ーヌ実施。

⑤ ペタンク大会

ポワンテ大会、ティール大会、ペタンク対抗戦で得た勝ち点で順位を決め、 上位から対戦相手を決め、最終順位決定戦を行った。試合時間は30分。この試 合で総合順位を以下の通り決定。

優 勝:守屋奏佑(岡山県)、徳永唯人(山口県)、山本真弓(島根県) 準優勝:郷原伸紀(島根県)、新宅大和(島根県)、島田奨馬(島根県) 第3位:守屋帆乃佳(岡山県)、鎌田咲千(島根県)、山本義人(島根県) 第4位:三宅誠史(岡山県)、門脇功真(島根県)、江田みか(島根県) 第5位:守屋心晴(岡山県)、門脇千夏(島根県)、原田和典(島根県) 第6位:春日裕希奈(島根県)、佐野のどか(岡山県)、古藤義弘(島根県) 第7位:三宅千晶(岡山県)、田中惟乃(島根県)、ブリュッソハ・ミレー(鳥取県) 第7位:新宅颯汰(島根県)、新宅晄大(島根県)、新宅 栄(島根県)

6 反省会

ジュニア選手から、交流会での良かったこととこれから取り組みたいことを発表。 発表の主な内容。

く良かったこと>

- ・ポワンテが良く寄るようになって良かった。
- ・ペタンク大会で優勝できて良かった。
- ・ペタンクが上手になって良かった。
- ・交流会に参加して良かった。
- ・休憩時間に食べたかき氷とスイカがとってもおいしかった。

<これから取り組みたいこと>

- ・ポワンテをがんばりたい。
- ・思ったところにボールを投げられるようにしたい。
- ・ティールが良く当たるようにしたい。
- ・これからも、ペタンクをがんばりたい。

◇ジュニア交流会総括

- ・今回のペタンク交流会には、初参加の山口県のジュニアを始め、地元島根県からは、9人。岡山県からは6人。合計16人ものジュニアの参加があった。午前中はポワンテとティールの基礎基本を習得できるように、様々なアトリエを設定して反復練習を行った。
- ・午後からは、チームによる対抗戦方式で、ポワンテとティール技術の習得を図った 大会を行い、意欲を持って取り組めるようにした。各チームにスタッフも加えて、ポ ワンテとティールでのアドバイスもらいながらチャレンジした。
- ・最後は、見方が投球する際の仲間の立ち位置、相手が投球する際の立ち位置やキャプテンを中心にしっかり相談して作戦を決め、決めた作戦をチャレンジすることをしっかり意識して、チームワークを大切にしてゲームを行った。そして、最後に表彰式と反省会を行った。
- ・屋根付きの会場に恵まれ、ジュニアは一生懸命に各課題に取り組み、明らかにレベルアップをすることができた。また、ペタンクへのモチベーションも大きくアップすることができた。今後、この交流会で得たことを日頃の練習に活かしてもらいたい。 そして、多くのジュニアの仲間を増やしてもらいたい。
- ・今回のジュニア交流会は、島根県と山口県と岡山県の3県の参加であった。来年度は、更に参加県を増やして開催できればと考える。そのためにも、各県でのジュニア普及に力を入れて取り組んでもらいたい。

<ジュニア交流会の様子>















